

# 日本教育大学協会 全国美術部門 会報 No.49

編集・発行 全国美術部門広報室  
代 表 増田金吾 (東京学芸大学)  
総務局長 芳賀正之 (静岡大学)  
広 報 室 E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用)  
事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町  
146 番地 中西印刷株式会社 学会部内  
TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662  
E-mail: art-bumon@nacoss.com

## 『「部門」という立ち位置』

全国美術部門副代表 小野 康男 (横浜国立大学)



本年度より部門の副代表を務めさせていただいている小野です。この文章を記すに当たり、前部門副代表岩村伸一氏の昨年度会報 No. 48 の巻頭文「全国美術部門の現在と未来」を読み直しました。また、大学美術教育学会会報 No. 32 の学会副理事長新関伸也氏の「大学美術教育学会の現在と未来」を併せ読み、部門と学会の関係の整備が昨年度の課題であったことが理解できました。さらに、会報 No. 48 における新野貴則氏の「全国美術部門のよりよい運営へ向けて」では、公立・私立大学の造形美術教育に携わる組織である全国美術教育教員養成協議会との間で大学造形教育連絡会議が設立されたことをはじめ、美術教育諸団体との連携が謳われています。

今回、冒頭で昨年度の記事を紹介させていただいたのは、他団体との連携のためにも、日本教育大学協会の研究部門の一つである全国美術部門(以下、「部門」)の立ち位置を確認するためです。「部門」には、日本教育大学協会に組織加盟している教員養成系国立大学・学部の美術教育講座所属の教員と附属学校の教員が会員として参加し、大学美術教育学会(以下、「学会」)は「部門」を母体に発展してきた学会という位置づけです。

教員養成を立ち位置にもつということは、図画工作・美術の教員を目指す学生の養成に責任をもつということであり、この学生たちは、将来、初等・中等の教員となって、子どもたちの教育を任務とすることになります。もっとも、大学には他教科の教員を目指す学生もいますし、子どもたちの興味の向かう先が図画工作・美術であるとは限りません。しかし、「部門」の会員にとって、少な

くとも確かなことは、図画工作・美術に関心をもつ学生・子どもとも、そうでない学生・子どもとも日常的に関わりをもち、その中で、図画工作・美術の文化の再生産に関わっていることです。

さて、本年度、私が所属する横浜国立大学で「平成 27 年度日本教育大学協会全国美術部門協議会」「第 54 回大学美術教育学会横浜大会」が開催されました。大会では、「多様な文化の時代における図画工作・美術科教員の養成」がメインテーマでした。実のところ、文化・文明の共生・衝突といった問題意識と並行して、図画工作・美術という教科は、今現在の子どもたちに伝える文化を提示しているのかという問題意識もありました。

確かに、図画工作・美術の専任教員数、授業時間数の減少等、教科を取り巻く状況には厳しいものがあります。しかし、一方、SNS に時間を奪われているとはいえ、子どもたちや一般の人たちの視覚文化に関する関心は衰えていません。図画工作・美術に根差した視覚文化は衰退しているのではなく、人々を取り巻く当たり前の環境になったといえるのかもしれない。

この度、「部門」の特別課題検討準備委員会が、従来の図画工作・美術とは異なるアプローチの『うみだす教科の内容学』という冊子を刊行しました。先述の協議会では、この冊子について議論が戦わされました。「部門」の協議会と「学会」が同時に開催されることで、「部門」に所属しない「学会」の会員たちにも、文化の再生産の現状や課題に接する機会となったのではないのでしょうか。「部門」の活動は、深い意味で教員養成の現在からの発信でありたいと思います。

## 平成27年度 役員・各種委員会委員一覧

■代表 増田金吾（東京学芸大学 26-27）

■副代表

（正）福本謹一（兵庫教育大学 26-27）

（副）小野康男（横浜国立大学 27-28）

■特別委員 山口喜雄（宇都宮大学 27）

■総務局

総務局長 芳賀正之（静岡大学 26-27）

部門部長 新野貴則（山梨大学 26-27）

総務局理事

松尾大介（上越教育大学 27）

喜多村徹雄（群馬大学 26-27）

石上城行（埼玉大学 26-27）

畠山智宏（清和大学短期大学部  
26-27）

■学会大会運営委員

渡辺邦夫（横浜国立大学 26-27）

阿部宏行（北海道教育大学 27-28）

■監事

大嶋 彰（滋賀大学 27）

岩村伸一（京都教育大学 27-28）

■地区全国委員

I〔北海道〕

佐藤昌彦（北海道教育大学札幌校 26-27）

三橋純子（北海道教育大学岩見沢校 27-28）

〔東北〕

煤孫康二（岩手大学 26-27）

村上タカシ（宮城教育大学 27-28）

II〔関東〕

茂木一司（群馬大学 26-27）

村松俊夫（山梨大学 27-28）

III〔北陸〕

阿部靖子（上越教育大学 26-27）

岡田匡史（信州大学 27-28）

〔東海〕

山本政幸（岐阜大学 26-27）

富山邦夫（愛知教育大学 27-28）

IV〔近畿〕

世ノ一善生（滋賀大学 26-27）

高木栄一（和歌山大学 27-28）

〔四国〕

金子宜正（高知大学 26-27）

山田芳明（鳴門教育大学 27-28）

V〔中国〕

福田隆真（山口大学 26-27）

一鉄田徹（広島大学 27-28）

〔九州〕

佐藤敬助（長崎大学 26-27）

喜久山悟（熊本大学 27-28）

■学校美術教育支援委員会（H27年度）

（略称「学校支援委員会」）

委員長（全国美術部門代表代理・兼務）

山口喜雄（宇都宮大学 26-27）

○附属学校部会

部会長 佐藤昌彦（北海道教育大学 26-27）

副部会長 伊藤文彦（静岡大学 26-27）

委員 片野 一（福島大学 26-27）

委員 遠藤敏明（秋田大学 25-26）

○学校教育支援部会

部会長 天形 健（福島大学 26-27）

副部会長 柳沼宏寿（新潟大学 26-27）

■特別課題検討準備委員会（H27年度3名）

委員長 小澤基弘（埼玉大学 27）

委員 石井壽郎（東京学芸大学 27）

石上城行（埼玉大学 27）

喜多村徹雄（群馬大学 27）

■大学造形教育連絡協議会

<全造連大会開催地区大学及び近隣地区  
代表委員>（H27年度8名）

委員長 山口喜雄（宇都宮大学 26-27）

※部門代表代理

副委員長 天形 健（福島大学 26-27）

総務局 新野貴則（山梨大学 27-28）

委員 辻 泰秀（岐阜大学 26-27）

山本政幸（岐阜大学 26-27）

立原慶一（宮城教育大学 27）

虎尾 裕（宮城教育大学 27-28）

村上タカシ（宮城教育大学 27-28）

# 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告①

## ◆北海道地区

### 1. 第1回北海道大会準備委員会の開催(TV会議)

日時：平成27年4月23日(木) 12:20~13:00

議長：三橋

会場：北海道教育大学

TV会議システムにより、札幌校、旭川校、釧路校、函館校、岩見沢校をつなぎ開催した。

1) 平成28年度の全国大会にむけて準備委員会及び準備委員の決定について

○27-28年度の地区理事3名と各キャンパスから1名委員を選出し計8人で準備委員会を組織する。人選については以下の案が承認された。

- ・ 27-28年度地区理事：三橋(27-28 岩見沢校)、名達(28-29 旭川校)
- ・ 大会委員長：佐藤(昌)(26-27 札幌校)
- ・ 事務局長：阿部(宏)(岩見沢校)、事務局：橋本(函館校)
- ・ シンポジウム等担当委員：南部(旭川校)、佐々木(釧路校)、花輪(札幌校)

○準備委員会は次回地区総会までに、準備委員会第2回会議(招集会議)を開催し、全国大会の概要案を作成することとなった。

### 2. 第2回北海道大会準備委員会の開催

日時：平成27年6月7日(日) 10:00~14:00

議長：阿部(宏)

会場：北海道教育大学札幌駅前サテライト会議室(招集会議)

<検討事項>

平成28年度の全国大会の概要について

- ・ 大会日程、会場、懇親会会場、シンポジウムテーマを検討した。
- ・ 今後の役割分担等を決定。
- ・ 第2回地区総会日程を決定。

### 3. 平成27年度 第1回北海道地区総会の開催(TV会議)

日時：平成27年8月7日(金) 12:30~13:00

議長：三橋

北海道教育大学 TV会議システムにより、札幌校、旭川校、釧路校、函館校、岩見沢校をつなぎ、地区総会を開催した。

<報告事項>

①平成27年3月の全国拡大理事会(東京)報

告について

27年度地区理事(三橋)より、次年度の北海道会にむけて、9月開催の横浜大会時までに決定が必要とされる事項等について説明があった。

<協議事項>

①平成28年度の全国大会の概要について

北海道大会準備委員会の事務局長(阿部宏行)から、準備委員会で作成した大会案(日程、会場、大会テーマ、懇親会場等)について説明し了解された。

②北海道大会のシンポジウムテーマ候補案について、担当委員(南部)から説明があり、意見等をメールで集約することになった。

### 4. 第3回北海道大会準備委員会の開催

日時：平成27年9月 全国大会期間

会場：横浜国立大学

全国大会に向けて、準備関連の下見、大会引き継ぎ、検討会議を行った。

### 5. 第4回北海道大会準備委員会の開催

日時：平成27年10月24日(日) 15:00~17:00

会場：北海道教育大学札幌キャンパス 議長：阿部(宏)

<協議事項>

北海道大会の会場、運営、懇親会、シンポジウムテーマ等について詳細を検討した。第2回地区総会を2月頃に開催することとした。

(北海道教育大学 三橋純子)

## ◆東北地区

日時：平成27年6月19日(金) 14:00~17:30

会場：ホテルナクアシティ弘前12階スカイバンケット

参加者：岩手大学(本村健太)、宮城教育大学(立原慶一)、福島大学(加藤奈保子)、山形大学(降籙孝、土井敬真)、秋田大学(石井宏一)、弘前大学(岩井康頼、蝦名敦子、石川善朗、富田晃、佐藤光輝、出佳奈子) 12名

議長：秋田大学(石井宏一) 弘前大学(蝦名敦子)

■協議事項に先立ち開催校の弘前大学より挨拶があり、その後に平成26年度日本教育大学協会全国美術部門役員会及び大学美術教育学会拡大理事

## 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告②

会についての報告があった。学会シンポジウムのパネラー選考については、ニュートラルな立場の人であってほしいという意見が出された。

### ■協議事項

#### 1. 大学改革、学部改組の動向について

各大学から現状の報告があった。岩手大学は新課程を人文学部に移し、教員3名の所属も移動する。宮城教育大学では大学院の改革を優先していることが報告された。山形大学は既に学術研究員制度を導入し、教員の一元化をおこなった。弘前大学では平成28年度から生涯教育課程を廃止し、教員養成課程の学生定員数も縮減する。秋田大学は新課程を新学科《地域文化学科》として残すことができた。以上のように各大学における現状と課題を確認し、有益な意見交換をおこなうことができた。

#### 2. 教職大学院設置に関わる問題について

既に設置している宮城教育大学では、現職教員の受験者が減少しているため、定員割れが起きている現状の報告があった。山形大学は教職大学院を独立大学院として平成21年に設置している。岩手大学は教育学研究科を廃止することになった。弘前大学は教職大学院を新設するが、現在の教育学研究科が数年維持されることになった。以上のように各大学において教職大学院の設置状況に違いがあるが、今後とも密に連絡をとり合い連携する事を確認した。

### ■談話題

#### 1. 各大学の入試状況について

秋田大学では受験生獲得のための広報活動を強化し、教員が県内高校の全てを訪問した。さらに開催される大学説明会にも積極的に参加し、その結果受験者が増加した。宮城教育大学は定員割れの対策としてセンター試験の配点を減らすことにより、定員を確保することができたという報告があった。山形大学からは県内市立大学との受験生獲得の競合についての現状が伝えられた。弘前大学はオープンキャンパスや大学祭で開催したデッサン教室の効果について報告があった。以上のように受験生獲得の対策は重要であり、特に県内高校生への宣伝活動の効果について確認することができた。

#### 2. 就職状況（就職率、就職先）について

秋田大学は教員採用に集中することで就職実績を残し、競合する県内公立大学との棲み分けを行うことができた。その他、各大学からも

県内への教員採用者を増加させるミッションについて現状と対策の報告があった。

#### 3. 東北6大学合同企画展の可能性について

山形大学では学生が主体となった大学合同展覧会を実施した。しかし、大学間の連絡不足や情報共有の難しさについて多数の大学から指摘があった。また、各大学での学内スケジュールの調整が難しいという意見もあった。

#### 4. 教員の後任人事補充に関する凍結問題について

大学改革の最中ということで多くの大学において教員補充の凍結の状況が報告された。協議会終了後の懇親会では大学相互の情報交換が活発に行われ、親睦を深める有意義な機会となった。（弘前大学 蝦名敦子）



### ◆北陸地区

日時：平成27年7月15日（水）14：00～16：00

会場：上越教育大学 美術棟4階 美401

出席：新潟大学（永吉秀司）、信州大学（岡田匡史）、福井大学（宮崎光二・坂本太郎）、金沢大学（大村雅章・池上貴之）、上越教育大学（高石次郎・阿部靖子・洞谷亜里佐・松尾大介・安部泰・伊藤将和・西村俊夫）

計13名

内容：

1. 開会
2. 挨拶（当番大学）
3. 参加者自己紹介
4. 議長選出
5. 報告事項

○協議事項

1. 開会
2. 挨拶（当番大学）

## 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告③

### 3. 参加者自己紹介

### 4. 議長選出

### 5. 報告事項

- ① 日本教育大学協会全国美術部門委員会報告
- ② 大学美術教育学会理事会報告
- ③ 平成26年度事業報告と会計報告
- ④ 平成27年度事業計画と会計予算

### 6. 承合事項

以下の7つの事項について、各大学の現状と問題点などが報告された。

- ①各大学における教職大学院の状況または設置の状況と既存研究の存続について
- ②教員採用試験の対策支援の方針について
- ③欠員ポストの補充が叶わない場合の対応について
- ④推薦入試の内容について
- ⑤北陸新幹線開通により、受験生の動向も含め、大学にどのような変化があったか
- ⑥研究費の配分などについて
- ⑦卒業制作展の予算を含めた取り組みや運営方法について

教職大学院設置など大学全体の動きにかかわる内容と、入試方法や卒業制作展、教員採用試験のことなど美術部門独自の内容について、各大学の現状を互いに理解することができ、有益な情報交換の場となった。

### 7. 協議事項

- ①教員構成の方向性（定員削除等を鑑みて）について
- ②「うみだす教科の内容学 -図工・美術の授業でおこること-」の回答について

協議事項ではあったが、結論を出すような問題ではなく、各大学が直面している美術教員人事の問題について共通理解し、今後どうあるべきか、意見交換を行った。また、2つ目の「うみだす教科の内容学 -図工・美術の授業でおこること-」への感想・意見などは、協議の時間がなくなったため、各大学から地区委員の方へ送付することとなった。

### 8. その他

- ①次期協議会開催大学について
- ②次期地区役員・地区理事について

### 9. 閉会

### 10. 写真撮影

(上越教育大学 阿部靖子)

## ◆近畿地区

1. 日時：平成27年6月7日（日）13：30～16：00

2. 場所：和歌山大学教育学部 附属教育実践総合センター（和歌山市栄谷930番地）

3. 参加者：滋賀大学／世ノ一善生

(26/27年度 地区全国理事)

和歌山大学／高木栄一（27/28年度地区全国理事）、永守基樹、山崎直秀、寺川剛央、永沼理善、丁子かおる、高橋健一

京都教育大学／日野陽子

神戸大学／鈴木幹雄

大阪教育大学／渡邊美香

奈良教育大学／竹内晋平

兵庫教育大学／大西 久

4. 内容：

世ノ一先生（滋賀大）の議事進行により種々の議題について議論を行った。

1) 地区全国理事の挨拶（世ノ一26/27年度、高木27/28年度）。

2) 参加者自己紹介。

3) 会計報告の了承。

4) 近畿地区美術部門会員名簿の確認（入会者や退会者）と、今後の会場校ローテーションについて表にもとづき確認があり了承された。（次年度は、幹事校が和歌山大学、副幹事校が神戸大学の順番となるが、神戸大学では学内再編の影響もあり、大学に持ち帰り後、決定することとなった。）美術部門と大学美術教育学会の組織および運営等について別紙資料に基づき過去の経緯や現状などについて意見交換があった。美術部門会費について、各大学の状況によって個人研究費等で支払うことが求められている現状について問題があるという意見があり、両者の組織運営また予算執行等については経緯をふまえ現状に即した運用がなされていることの一定の共通理解は得られたが、一方でさらなる整理が必要との意見がみられた。

5) 別紙により日本教育大学協会全国美術部門と大学美術教育学会の日程等確認があった。

(9月19日（土）拡大総務局会・第1回拡大理事会・第1回全国美術部門委員会、20日大学美術教育学会)

6) 各大学からの状況報告と協議があった。(1)の予算配分についてはどの大学においても年々厳しさを増している状況が報告された。(2)の院

## 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告④

生・学部生の在籍状況について、(3) 学部入試の状況と取り組みについて、(4) 教採・就職の状況と支援対策について、それぞれ各大学から報告があった。(5) 大学改革などに関する取り組み状況の報告があり、大学改革と連動して新規教員の採用が難しくなる見通しが各大学共通の問題として議論された。(6) 各大学における地域貢献、地域連携について報告があった。(7) その他『うみだす教科の内容学 図工・美術の授業でおきること』について意見交換があり、近畿地区協議会でも引き続き教科の内容学を模索していく可能性について話し合った。(和歌山大学 高木栄一)

### ◆四国地区

日時：平成27年6月13日(土) 12:00~15:20

場所：高知大学 朝倉キャンパス教育学部3号館  
1階「版画・陶芸室」

出席者：香川大学：古草敦史、鳴門教育大学：山田芳明、愛媛大学：佐々木昌夫、高知大学：金子宜正

議題：

#### 1. 本年度の地区全国委員

本年度の地区全国委員として、鳴門教育大学：山田芳明(平成27-28年度)、高知大学：金子宜正(平成26-27年度)の両名が確認された。

#### 2. 3月の拡大理事会・全国美術部門会議の報告

本年度四国地区全国理事(高知大学)より、2015年3月14日に東京で行われた「平成26年度大学美術教育学会第2回拡大理事会」および「平成26年度日本教育大学協会全国美術部門会議」の内容が会議資料をもとに報告された。報告の中で、27年度事業案があるのに、なぜ役員・各種委員会委員欄が26年度のものになっているのか、J-Stageの具体的な案内、等の質問があった。昨年度、学会費の振込用紙が二度届いたなど、わかりづらさについて指摘があった。

#### 3. 総務局からの連絡について

支部会開催前にメールで届いていた総務局からの連絡事項(以下3件)について、資料をもとに確認をおこなった。

- 1) 「日本教育大学協会全国研究部門等の組織及び運営について」

- 2) 「日本教育大学協会全国研究部門 会員名簿の作成について」

- 3) 「『うみだす教科の内容学』に対する意見のお願い」

1) は、資料上で内容を確認し、2) については、全国規模で部門の会員名簿を支部会ごとに整理し、確認していくことが確認された。3) については、事前に送付されていた『うみだす教科の内容学』(冊子)をもとに、美術の専門領域(教科専門)の独自性と必要性、教科内容学の方向性等について、意見交換をおこなった。

#### 4. 情報交換

各大学の美術コースについての現状報告があり、今後の定員削減の見通しについて情報交換がなされた。

#### 5. 会計の引き継ぎ

支部会費の納入、出席者への旅費支給を行うとともに、前年度会計担当の愛媛大学から今年度担当の高知大学への引き継ぎを確認した。

(高知大学 金子宜正)

### ◆中国地区

下記のように中国地区会を開催しました。

日時：平成27年6月23日(土) 14:00~16:50

場所：山口大学教育学部教育実践総合センター2階

出席者：岡山大学1名(橋ヶ谷)、島根大学2名(新井、有田)、鳥取大学1名(武田)、広島大学5名(菅村、井戸川、蜂谷、八木、一鍬田)、山口大学4名(福田、吉田、中野、上原)

日程

・14:00~14:45 研究発表

・15:00~16:50 総会

#### ●研究発表

山口大学の中野良寿が「美術活動と地域連携」をテーマとし、平成26年度文化庁主催の新進芸術家育成事業の活動内容について、スライドによる発表を行った。報告書として「コレクティブ EASY Vol.1」が配布された。

#### ●総会

- 1 出席者の事項紹介
- 2 報告事項

## 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門地区会報告⑤

平成26年度の全国理事会の報告を山口大学の福田が行った。

平成26年度中国地区会の報告を島根大学の新井が行った。

平成27年度全国協議会、学会は横浜国立大学で9月20、21日開催が確認された。

平成27年度、28年度の地区理事に広島大学の一鍬田が就任した。

平成26年度中国地区会の会計報告と監査報告が行われた。報告は島根大学、有田、監査は山口大学、吉田、中野。

中国地区会の会費について協議され、来年度から当面の間、2000円とすることが決まった。

平成29年度の全国協議会、学会の開催は広島大学が予定されている報告があった。

次の地区会は平成28年6月に広島大学が開催する。

### 3 協議事項、情報交換

協議事項として、鳥取大学の機関加盟が本部で了承されたことに伴い、中国地区会への参加を正式に承認した。また、地区会の開催の当番校としては配慮することが了承された。

情報交換として、岡山大学の橋ヶ谷が教職大学院についての発足、経緯、現状、授業形態、問題点、実施状況等について報告があり、各大学の教職大学院と教育学研究科の現状と方向性が述べられた。島根大学では平成28年度に教職大学院設置の予定で、大学院の一本化が予定されている。山口大学では平成28年度に教職大学院の設置の予定と教育学研究科の併存が予定されている。広島大学では、平成28年度に教職大学院の設置が予定されている。

他に、教員の定数削減、留学生受け入れ、就職状況などの情報交換が行われた。

以上

(山口大学 福田隆真)

### ◆九州地区

下記要領にて日本教育大学協会全国美術部門九州地区研究協議会を開催いたしました。

日時：平成27年6月19日(金)13:00～

場所：長崎市ホテル「セントヒル長崎」

出席：熊本大学：喜久山悟・緒方信行・赤木恭子  
／佐賀大学：荒木博甲・田中右紀・小坂智子・栗山裕至・井川健・岩崎誠和・和田学／宮崎大学：石川千佳子・幸秀樹・大泉佳広・大野匠／福岡教育大学：松久公嗣／鹿児島大学：池川直・清水香／大分大学：藤井康子／琉球大学：亀井洋一郎／長崎大学：佐藤敬助・中川泰・菅野弘之・針貝綾・牧野一穂 以上24名

内容

- 長崎大学教育学部長の挨拶
- 議長選出  
前半は開催校より選出、後半は次期開催校(熊本大学)より選出。
- 出席者自己紹介
- 議事に先立ち、来年度の理事の確認
- 前理事(栗山裕至)より平成26年度全国大会に関する報告
- 協議題  
九州地区年会費の会費徴収の申し合わせについての明文化が必要なために長崎大学が原案を作成し了承された。
- 承合事項  
以下の承合事項についてそれぞれの大学より提出があり質疑応答があった。
  - ・ 美術科の専有面積について(宮崎大学)
  - ・ 学部・大学院再編による変化と対処について(鹿児島大学)
  - ・ 学部入試状況とその分析について(熊本大学)
  - ・ 就職状況とその分析について(熊本大学)
  - ・ 採用試験対策について(熊本大学)
- その他
  - ・ 平成27年度九州地区美術部門理事として佐藤敬助(長崎大学)喜久山悟(熊本大学)を確認決定
  - ・ 次期開催当番校として熊本大学に決定。その後は、琉球大学に内定。

(長崎大学 佐藤敬助)

日時：平成26年6月27日（金）13：00～17：00

会場：佐賀大学文化教育学部4号館1階

「美術科教室」

出席者：26名

＜協議会次第＞

1. 開会の挨拶（甲斐今日子文化教育学部長）
2. 出席者自己紹介
3. 協議

「学部再編の動きについて」「教員養成系美術科の今後のあり方について」

学部再編が進められる中での、教員養成学部美術科の存続や発展の可能性について意見交換がなされた。

#### 4. 承合事項

（1）ミッションの再定義において、教員養成学部・大学については、「新課程は原則廃止または規模縮小とともに抜本的な見直しを図ること」になっているが、その対応方針について

（2）「学生の授業外時間の教室使用について」

（3）「設置済み教職大学院の現状と新規設置準備について」「教職大学院における定員および現職教員と進学からの入科者の比率について」

（4）「佐賀大における芸術学部の新設について」

（5）大学院入試における、試験科目（英語）の体制について

（6）美術科における教員採用試験対策の実施について

（7）教職実践演習の専修内の実施内容と、ゲストティーチャーの依頼状況について

協議会終了後、佐賀大学美術館「カフェソネス」にて情報交換会が開かれた。

また、前年度における鹿児島大学からの提案を受け、各大学の美術科学生有志による研究協議会連動企画「九州地区大学美術科8BOXes」展（6月18日～29日）が佐賀大学美術館にて開催された。

（栗山裕至／佐賀大学）



## ■特別課題検討準備委員会

「うみだす教科の内容学」について、全国地区の先生方から多くのご意見を賜り、まずここでお礼を申し述べたいと思います。ありがとうございました。いただいたご意見をその内容に従って整理し、9月21日の横浜国立大学での部門協議会において先生方にご報告をさせていただきました。その詳細はここでは記しませんが、今後の内容の精緻化に向けて、貴重な指針を提示していただいたと思います。いただいた意見を参考にしながら、次期の本委員会ではこれまでの議論を更に普遍的かつ精緻なものへと変更していくことが望まれます。ただ、第一次特別課題検討委員会に先んじる前教科内容学検討委員会での議論を、このテキストが踏まえていないのではないかとのご質問を、以前から、そして9月21日の協議会の際にも受けました。そのようなご質問が出るということは、やはりそれに対しても今後配慮をし、一度当初の教科内容学検討委員会の議論に立ち戻って、そこでの議論内容を今一度省察し、それが「うみだす教科の内容学」とどのようにつながっているのかについて見直す必要があることも、そうしたご質問から改めて理解をした次第です。

つきましては、第二次特別課題検討委員会では、前教科内容学検討委員会の主要メンバーで今回の特別課題検討委員会には属してみえなかった先生方に、新委員会を組織いただき、当初の議論と今回のテキスト内容との整合性を検証いただくとともに、今回のテキスト内容も踏まえ、またテキストに寄せられたご意見も踏まえた上で、新たな内容学テキストの作成を期待したいと思います。おそらくそれは、従来の縦割りの専門内容をどのように扱うか、つまり従来通りそれを保守するか、あるいは今回のテキストのように「創造性」という括りで広く捉えなおすかという問題につながると思います。

そのような次第ですので、今年度をもちまして私はこの委員会とは距離をおかせていただき、第三者の立場からその進展を拝見させていただくことと致します。次期委員会のメンバーになれる先生方、そしてその長の任を託される先生におかれましては、その任はとても重いと思いますが、何とも斯界の今後の発展のためにご尽力いただくことを切に期待して、私のご挨拶と代えさせて頂きたいと思います。

小澤基弘

# 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会報告①

## 平成27年度 第1回 日本教育大学協会 全国美術部門協議役員会報告

日時：平成27年9月19日（土）16：30～17：30

場所：横浜国立大学（教育人間科学部）

教育7号館 301室

### I. 挨拶

議事に先立ち、先ず山口特別委員・代表代理から開会の辞があり、次いで増田代表より挨拶があった。

### II. 報告・協議

#### 〈報告事項〉

#### 1 平成27年度部門会員現況

芳賀総務局長から、平成27年度部門会員322名の登録について報告された。ただし、今年度の名簿作成にしたがって、会員の現況を適宜確認していくことが説明された。

#### 2 事業報告

(1) 平成26年度の部門事業について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに報告された。

#### 3 平成27年度 部門・学会の合同開会式・ 総会・協議会

(1) 平成27年度教大協全国美術部門開会式・総会について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに報告された。

(2) 全国美術部門協議会について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに報告された。

#### 4 部門各種委員会

##### (1) 特別課題検討準備委員会

小澤委員長より、配布したテキストにおける発行日の未記載について述べられた。そして、各地区全国委員から寄せられたテキストへの意見を、部門協議会において、取り上げる旨の報告があった。また、次年度以降の委員会の活動方針について説明があった。

##### (2) 全国学校美術教育支援委員会

山口委員長より、全造連にかかわる大会や研究会への支援、広報誌（支援ニュース）発行の準備等、委員会の活動状況について報告があった。増田代表から、委員名簿の担当（28-29）の記載について、来年度に改めて決定すべき事項として、善処するよう意見が出された。

##### (3) 全造連大学部会

新野部門部長より、配布資料をもとに11月11、12日に開催される全造連・岐阜大会について案内があった。また、地区全国委員に地区の活動の報告と名簿作成の協力が依頼された。

### 5 その他

(1) 芳賀総務局長より、会報に掲載されている平成26年度議事録について報告があった。

#### 〈協議事項〉

#### 1 平成27年度役員・委員会

(1) 平成27年度役員・各種委員会（案）について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに説明があり、承認された。

#### 2 決算・予算・事業計画

(1) 平成26年度決算（案）について、芳賀総務局長より配布資料をもとに説明があり、承認された。

(2) 平成26年度会計監査について、大嶋監事より配布資料をもとに説明があり、承認された。併せて、アウトソーシングに伴う複雑な会計の適切な処理について、総務局長にお礼が述べられた。

(3) 平成27年度事業計画（案）について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに説明があり、承認された。

(4) 平成27年度予算（案）について、芳賀総務局長より概要集の資料をもとに説明があり、承認された。

#### 3 全国美術部門の改善

(1) 新野部門部長より、名簿の作成について配布資料をもとに説明があり、今年度10月以降2年ごとに発行する意向が示された。部門加盟の基準について質問を受け、増田代表から、教大協への加盟は機関で課されているが、部門加盟の選択については、各部門の判断に任されている旨の説明があった。そして、部門加盟にかかわる方針について、文書を作成して関係者に周知することが、代表に一任された。

（文責：松尾大介／上越教育大学）

## 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会報告②

### Ⅲ その他

- (1) 芳賀総務局長より、各種委員に旅費の支払いのための口座振り込み依頼書の提出について説明があり、確認された。

### Ⅳ. 挨拶

小野副代表から閉会の辞があった。

### 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会 【開会式】

日 時：平成27年9月20日（日）

会 場：第6講義棟：6-101室

（開会式） 9:20～9:50

司会進行：大泉義一（横浜国立大学）

1. 開会挨拶  
美術部門代表 増田金吾（東京学芸大学）
2. 開催大学代表挨拶  
部門大会実行委員長 渡辺邦夫  
（横浜国立大学）
3. 閉会挨拶 特別委員 山口喜雄  
（宇都宮大学/部門代表代理兼務）

### 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門 【総会】

日時：平成27年9月21日（月・祝）16:20～16:50

場所：横浜国立大学（教育人間科学部）

第6義棟：6-101

#### 1. 挨拶

議事に先立ち、先ず増田部門代表から挨拶があった。

#### 2. 議長団選出

議長として北陸地区の松尾委員、副議長として北海道地区の三橋委員が選出された。

#### 3. 議事

##### 【報告事項】

- (1) 会員登録・入会等報告  
芳賀総務局長より、平成27年度部門会員322名の登録について報告された。ただし、今年度の名簿作成にしたがって、会員の現況を把握して報告することが説明された。
- (2) 平成26年度事業・決算報告  
芳賀総務局長より配布資料にもとに報告があ

った。

- (3) 平成26年度監査報告  
岩村幹事より配布資料をもとに報告があった
- (4) 特別課題検討準備委員会報告  
小澤委員長体調不良のため、喜多村委員から活動報告があった。
- (5) 全国学校美術教育支援委員会報告  
山口委員長から委員会の活動状況について、委員会内組織を改めた旨の報告があった。
- (6) その他 なし

##### 【協議事項】

- (1) 平成27年度役員・各種委員会構成・任期  
増田部門代表より配布資料をもとに説明があり、承認された。
- (2) 平成27年度事業計画（案）・予算（案）  
芳賀総務局長より配布資料をもとに説明があり、承認された。
- (3) 全国美術部門の組織・運営等  
新野部門部長より部門会員名簿の作成および運営について説明があり、承認された。
- (4) 平成28年度 協議会の開催大学  
（北海道大学）  
佐藤大会運営委員長ならびに阿部大会事務局長（学会大会運営委員）より、平成28年9月24日（土）、25日（日）開催の全国大会北海道大会について説明があり、承認された。
- (5) その他 なし

#### 4. 議長団解任

#### 5. 閉会の辞

省略された。

（文責：喜多村徹雄／群馬大学）

### 平成27年度 日本教育大学協会全国美術部門【協議会】

平成27年9月21日（月・祝）13:30～14:30

横浜国立大学（教育人間科学部）

第6義棟：6-101

テーマ：『うみだす教科の内容学』について考える

コーディネーター：新野 貴則（山梨大学）

パネリスト：小澤 基弘（埼玉大学）

石井 壽郎（東京学芸大学）

石上 城行（埼玉大学）

喜多村 徹雄（群馬大学）

## 平成26年度 事業報告

5月31日(土)	H26 論文集『日本教育大学協会研究年報』査読候補者推薦
6月22日(日)	第1回運営委員会(静岡/パルシェ7F・会議室)
6月下旬	「福井大会案内(第1次)」研究発表(口頭)・投稿論文登録の「申込案内」
8月18日(月)	造形芸術教育協議会関係(三学会連携協議)
9月10日(水)	「部門会報・47号」、「福井大会案内(最終)」発行・郵送
9月中旬	平成25年度会計監査(西村監事・小澤監事)
9月21日(日)	第2回運営委員会(静岡/パルシェ7F・会議室)
10月3日(金)	大会前日諸会議: 拡大総務局会、第1回全国美術部門役員会、各種委員会(学校支援委員会、特別課題検討委員会)、全造連大学委員会(全美協との合同協議)
10月4日(土)	第53回大学美術教育学会「福井大会」
10月5日(日)	部門・学会合同開催式(福井大学)、部門協議会、総会、部門・学会合同懇親会、シンポジウム、ポスター発表・ポスター展示、研究発表(口頭)、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-横浜国立大学)
10月30日(木) ～31日(金)	第66回全国造形教育研究大会2014/山梨大会
12月1日(月)	日本教育大学協会への事業実績報告(H26.4-12事業分)
(平成27年)	
1月23日(金)	日本教育大学協会全国研究部門連絡協議会(東京学芸大学本部)
2月21日(土)	部門運営委員会(静岡/パルシェ7F・会議室)
3月14日(土)	拡大総務局会・第2回拡大理事会(役員・委員長出席)・第2回全国美術部門役員会、各種委員会(学校支援委員会、特別課題検討委員会)(東京/アットビジネスセンター東京駅) 次年度 組織・運営に関する執行部・各役員の引き継ぎ
4月1日(水)	日本教育大学協会への事業報告(H26.12-H27.3事業分)

## 平成27年度 事業計画

6月上旬	「部門会報・第48号/横浜大会案内」発行・郵送
6月8日(月)	H27 論文集『日本教育大学協会研究年報』査読候補者推薦
6月21日(日)	第1回運営委員会(東京/TKPスター貸会議室)
9月1日(火)	横浜大会参加申込 締切
9月上旬	「横浜大会案内(最終)」 平成26年度会計監査(大嶋監事・岩村監事)
9月11日(日)	第2回運営委員会(東京/TKPスター貸会議室)
9月19日(土)	大会前日諸会議: 拡大総務局会、第1回全国美術部門役員会、各種委員会(学校支援委員会、特別課題検討委員会)、全造連大学委員会(全美協との合同協議)
9月20日(日)	第54回大学美術教育学会「横浜大会」
9月21日(月)	部門・学会合同開催式(横浜国立大学)、部門協議会、総会、部門・学会合同懇親会、シンポジウム、ポスター発表・ポスター展示、研究発表(口頭)、閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-北海道教育大学)
10月25日(日)	第2回学会誌委員会(場所未定) ※学会関係
10月下旬	「部門会報・第49号」発行・郵送
11月12日(木) ～13日(金)	第67回全国造形教育研究大会2015/岐阜大会
12月1日(火)	日本教育大学協会への事業実績報告(H27.4-12事業分)
(平成28年)	
1月22日(金)	日本教育大学協会全国研究部門連絡協議会(東京学芸大学本部)
2月中旬	部門運営委員会(場所未定)
3月中旬	拡大総務局会・第2回拡大理事会(役員・委員長出席)・第2回全国美術部門役員会、各種委員会(学校支援委員会、特別課題検討委員会)(場所未定) 次年度 組織・運営に関する執行部・各役員の引き継ぎ
3月末日	「部門会報・第50号(次期大会予告)」発行・郵送
4月1日(金)	日本教育大学協会への事業報告(H27.12-H28.3事業分)

日本教育大学協会全国美術部門 平成27年度 予算案

○収入

	費目	平成26年度予算	平成27年度予算	備考
	前年度繰越	1,482,231		
年会費	会費収入	960,000	960,000	
助成金	教大協助成金	80,000	80,000	
	合計	2,522,231	1,040,000	繰越金含まない

※ 会費収入=@3,000円×320名

●支出

	費目	平成26年度予算	平成27年度予算	備考
補助金及び負担金 (204,000)	全国協議会補助金	200,000	200,000	
	全造連負担金	4,000	4,000	
印刷製本費 (500,000)	会報刊行費(発送費込み)	100,000	250,000	H27より発送費込み
	名簿刊行費(発送費込み)	0	200,000	H27より発送費込み
		30,000		「封筒その他印刷」の 費項目削除
	調査・資料作成費	200,000	50,000	「委員会等報告書」の 項目削除
運営費 (200,000)	特別課題検討準備委員会費	200,000	100,000	
	学校支援委員会費		100,000	
事務経費 (10,000)		5,000		「支出手数料」の項目 削除
	通信費	5,000		
	郵送費	10,000		
	事務費	5,000	5,000	
	雑費	5,000	5,000	
委託費 (100,000)	事務部業務委託費	50,000	100,000	
予備費 (26,000)	予備費	1,708,231	26,000	
	合計	2,522,231	1,040,000	

# 平成28年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会

## 第55回 大学美術教育学会 「北海道大会」(ご案内)

大会テーマ 「美術と教育における地域の多様性(仮)」

シンポジウムテーマ:「地域人材・教員養成と教育の多様性:美術教育は北の地で何を生み出してきたか(仮)」

◇内容 企画行事・研究発表・総会・懇親会など

◇日時 平成28年9月24日(土)

25日(日)

※役員会・各種委員会 前日23日(金)  
(札幌駅前サテライト4F予定)

◇会場 北海道教育大学 札幌校

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目  
・札幌市内中心部から公共交通機関で50分ほど  
かかりますので、開始時刻にご注意願います。

◇申込方法

- \*e-naf+(オンライン大会登録受付システム)  
による参加申し込みを予定
- \*詳細は後日お知らせします。
- \*大会参加は当日受付でも可能です。

◇参加費

会員・一般 4000円(事前申込)

5000円(当日)

院生・学生 2000円(事前申込)

3000円(当日)

※院生には現職教員も含む

懇親会 5000円

サッポロビール園:札幌市東区

【注意事項】

※宿泊斡旋は行いません。この時期大変込み合  
いますので各自で早めに確保願います。

※1日目の研究発表後の懇親会場への移動は各  
自でお願いします。

※5月に1次案内を発送する予定です。

【問合せ】

※大学美術教育学会北海道大会準備委員会  
事務局長 阿部 宏行(岩見沢校)

<abe.hiroyuki@i.hokkyodai.ac.jp>



## 全国美術部門の会費請求・納入に関するお願い

平成 26 年度の業務委託に伴い、事務部で管理していた会員データを事務支局（中西印刷）に移しました。まだ、一部、未整理のところもあるため、ご迷惑をおかけした方もおりますが、会費請求において不明な点をご連絡ください。

会員管理・会費関連に関するお問い合わせ：

大学美術教育学会事務支局

（中西印刷株式会社内）

Tel: 075-415-3661 E-mail: uaesj@nacos.com

全国美術部門の会費請求に関しては、名簿作成と同時に進めております。現在、各地区に依頼し、大学ごとの名簿を作成中です。その名簿の整理が出来たところで、会費支払いの振込用紙をお送りいたしますので、しばらくお待ちください。

## 事務部廃止に伴う総務局専用のメールアドレス

日本教育大学協会全国美術部門並びに大学美術教育学会において、平成 20 年度以降、一大学の事務局運営から全国各地の大学教員による総務局体制で運営を変更しましたが、それと同時に事務部を設け、様々な事務仕事を民間の方に委託してきました。しかし、効率的で持続可能な運営をめざし、平成 26 年度、アウトソーシング（中西印刷に業務委託）に踏み切りました。その過程で事務部を廃止しつつ、事務体制の運営を見直しているところです。

平成 27 年 10 月 1 日より、総務局専用のメールアドレスを設けたところです。現在のところ、メールアドレスの位置づけは広報室のものとしてありますが、主に総務局長、学会部長、部門部長の 3 名により、このメールへの問い合わせに対応いたします。それに伴い、これまで使用してきたメールアドレス = daibibumon@pol5.ueda.ne.jp は廃止となります。お間違いなきよう、よろしく願います。

総務局専用 新メールアドレス  
E-mail: daibibumon@uaesj.com

## 美術教育の充実に向けての要望書

平成 27 年 10 月 1 日、文部科学省等に提出した「美術教育の充実に向けての要望書」を大学美術教育学会と全国美術部門のホームページに掲載しました。日本美術教育学会、美術科教育学会等のホームページでも同様に掲載してあります。

ホームページにおいて、大学美術教育学会と全国美術部門では、会員の皆様に下記の情報（文章）とともに、要望書（PDF）を閲覧できるようにしあります。この内容に関するご意見等は、総務局（daibibumon@uaesj.com）までお寄せください。

三学会（大学美術教育学会、日本美術教育学会、美術科教育学会）の連携組織である「造形芸術教育協議会」で次期教育課程へ向けての積極的な取り組みが合意されました。

そこに公益社団法人日本美術教育連合、教員養成組織である日本教育大学協会全国美術部門（国立系）、全国大学造形美術教育教員養成協議会（私学系）、全国的な現場教員の組織である全国造形教育連盟、日本教育美術連盟が加わり「美術教育連絡協議会」を結成し、次期教育課程の改訂において、学校における美術教育のより一層の充実が図られることを願い「要望書」を作成しました。平成 27 年 6 月 30 日、文部科学大臣や中央教育審議会会長等に「美術教育の充実に向けての要望書」を提出しましたことを、学会並びに部門会員の皆様にご報告いたします。

会員の皆様に於かれましては、本件につきましてご意見等がありましたら、大学美術教育学会・日本教育大学協会全国美術部門の総務局（daibibumon@uaesj.com）までお知らせ下さいますようお願いいたします。

平成 27 年 10 月 1 日  
大学美術教育学会理事長・日本教育大学協会全国美術部門代表

同 増田金吾  
総務局長 芳賀正之

### 【総務局広報室】

芳賀正之（静岡大学）  
佐藤賢司（大阪教育大学）  
新野貴則（山梨大学）  
喜多村徹雄（群馬大学）

